

遠野市少年センターだより



遠野市公式キャラクター
「カリんちゃん」

令和6年1月発行

【遠野市少年センター】遠野市新町1-10 遠野市民センター内/TEL: 0198-62-4413

新年のごあいさつ



令和6年を迎え、遠野市少年委員の皆さまをはじめ、関係機関・団体の皆さまに謹んで新春のお慶びを申し上げます。

また、日頃より青少年の健全育成および非行防止に多大なるご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和5年5月から新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、イベントや行事などの体験活動がコロナ前に戻り、子どもたちの元気な様子を見ることができるようになった半面、非行の低年齢化や再犯率の上昇、大麻所持、違法薬物の使用やオーバードーズなど青少年が関わる事件・事故は深刻な社会問題となっています。

遠野市少年センターでは、本年も街頭補導活動を中心とした非行の未然防止や登下校の見守りなど、青少年の健全育成のための活動に取り組んでまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

さらに、本年が皆さま方にとりまして、平穏で幸多き一年となりますことをご祈念申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。

遠野市少年センター 職員一同



令和5年度 地域で子どもを育てる活動発表会に参加しました

令和6年1月13日(土) 遠野市民センター大ホールにて、令和5年度地域で子どもを育てる活動発表会が開催されました。

この会は学校と地域が連携・協働した実践の発表を通じ、活動の意義や方法等を学び合い、今後の活動の充実・改善に役立てるとともに、地域の文化・自然・人から学び続けようとする意欲の向上を目的に例年開催しているもので、遠野市少年委員協議会副会長の菊池タキさんにも来賓としてご出席いただきました。

はじめに、各中学校区から地域と学校が連携した取り組みについての事例発表があり、参加した児童生徒からも感想発表などがありました。

次に、子どもたちのインターネット利用について考える研究会事務局の高橋大洋氏を講師に「わかる！できる！子どものゲーム・スマホ利用と保護者の取り組み」と題した家庭教育講演会があり、子どもたちへのアンケート調査の結果から見たネット利用の実態やトラブルの経験など、普段の生活では把握することが難しい現状についての総括や、保護者に向けて家庭でできる具体的な取り組みについてのお話がありました。その中から一部を抜粋してご紹介します。

- ・楽しんでいる最中にやめられないのは当然と考え、少しでも楽に気分よく終われるための「演出」が必要。次に使える機会の確保。(またしばらくできないと思うとやめられない)
- ・約束を守ることへの報酬の設定。「その次」に魅力的なスケジュールを用意しておく。
→「やめて早く宿題をこなさい！」は楽しいことの対極すぎて無理。
- ・コンテンツごとの終了しやすいタイミングを見極める。…など

子どもの「好き」「楽しい」を受け止め続け、否定せず心身の健康と発達を守るために、というお話は、情報メディアに関してだけでなく、子育て全般に関わる内容で非常に興味深く、親も子もお互いのストレスが少なく取り組めるものだと感じました。

さらに、家庭教育や地域の関わりの可能性について、保護者を孤立させず、不安や悩みを共有し、ネット以外の機会(体験活動)の充実など、子育て世代以外の人に向けても行動を起こすきっかけになるような講演会でした。

12月の街頭補導活動の様子



あまり遅くならないうちに
気を付けて帰ってね

はい、わかりました！

とぴあ内の様子

12月20日(水) 15:00～遠野2班
中学校は期末面談のため午前授業、遠野小学校はインフルエンザのため学校閉鎖中。とぴあ内のフリースペースに高校生が数名休んでいた。グッズを渡しながら気を付けて帰るように声をかけた。他にも、市役所本庁舎では、中学3年生女子3名が勉強をしていた。同様にグッズを渡し「勉強がんばってね」と声をかけた。小学生には会わなかった。



おはようございます！
いってらっしゃーい

おはようございまーす

北小前あいさつ運動の様子

12月15日(金) 7:30～ 松崎班
松崎町防犯協会主催の非行少年を生まない社会づくり運動で冬季間はあいさつ運動に参加。この日も少年委員以外に、駅前交番、民児協、更女、保護者、北小の先生、地区センター、など関係機関・団体から様々な方が参加していた。寒さが厳しくなってきたが、子どもたちは元気よく登校してきた。

少年センターから ～ 今年の目標をたててみませんか？ ～



3学期がはじまり、見守りをしている通学路にも子どもたちの元気な姿が戻ってきました。3学期は学年が終わる学期でもあり、新しい学年に向けての準備期間でもあります。年が明けて新しい気持ちになっているこのタイミングで1年の目標を立てることで意識も変わってくるのではないのでしょうか。

また、目標について考えることは将来なりたい自分について考える機会になりますし、挑戦したいことを設定し、達成できれば自信にもつながります。

子どもたちにとって、やりたいことや興味があることをきっかけに「去年の自分より成長できた」と肯定できるような、達成しやすい目標を具体的に書くことをおすすめします。

例えば…

- ・英語が話せるようになりたいから毎日〇分英語のアプリをする。
- ・好きなアーティストの音楽を聴きながら毎日30分ウォーキングをする。
- ・苦手な数学のテストで〇〇点をとるために毎日15分復習する。

仮に達成できなくても、難しく考えすぎず本人が努力した過程で得たものを前向きにとらえ、気楽な気持ちで継続していけるような声掛けをしましょう。

大人からも自分自身の目標や挑戦してみたいことについて話し、子どもと共有しておけば、コミュニケーションのきっかけにもなり、お互いに励ましあって取り組むことで目標達成の近道になるかもしれません。

2024年の干支は「甲辰(きのえたつ)」です。「甲」には草木などが成長していくことを表す意味があり、どんどん勢いを増していくという意味があるそうです。このことから甲辰は、成功という芽が成長していき、姿を整えていくという意味合いがあり、努力すれば実りやすい年とも言われているそうです。

皆さんの目標が、辰年にちなんで力強く花開く年になるとよいですね。

最後に、今年の冬は雪も少なく例年よりは過ごしやすいようですが、特に夕方から夜間の巡回活動の時には、懐中電灯を携行し足元に十分注意してくださいますようお願いいたします。